

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アスラボはるえ		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のニーズに応じた活動に特化している。	学習支援を活動の中心に置き、子どもたちの学習への不安に対応していく。事業所の活動の中で見られた学習への不安やそれに対する対策を相談員や保護者を通じて学校に伝えていくこと。	様々な検査やツールを使うことで、学習への不安の原因をより細かく分析し、活動内容の見直していく。また学校連携を強化し、子どもたちが将来に見通しを持てるような支援に努めていく。
2	発達障害の特性を理解した支援ができる。	発達障害について職員がより深く理解するための学習会の実施や外部研修への参加をしている。	法人内での研修を強化していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方やご家族を交えたイベントや研修会がないこと	利用者ごとに事業所に対するニーズが違い、年齢層にも幅があるため共通のテーマでイベントや研修会を開催するのが難しい。	保護者の方にイベントや研修会の内容を事前にアンケートする。その上で企画、立案、実施していく。
2	地域連携	送迎がないため学校の先生から直接学校の様子を聞くことが少ない。また地域の児童館や事業所所在の地域との交流がない。	地域の自立支援協議会への参加や子ども部会への参加をしていく。
3			